

6月定例会 議案等の審議結果一覧

Table with columns for item name, party, and voting results. Includes sections for Mayor's proposals, Council proposals, and Requests.

人事議案 請願 意見書
6月定例会には、市長から、公平委員会委員の選任についての議案が提出され、議会はこれに同意しました。公平委員会委員 小山 達也 (敬称略)
6月定例会には、新たに請願9件が提出され、所管の各委員会で審査しました。議会は、このうち4件を採択、3件を不採択、2件を継続審査としました。(審議結果は左表)
6月定例会には、意見書案等12件が提出され、議会は、このうち6件を可決し、6件を否決しました。可決した意見書は、6月24日に関係行政庁等へ送付しました。(審議結果は左表)

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書(要旨)

義務教育は、子供たち一人ひとりが国民として必要な基礎的資質を培うためのものであり、義務教育の基盤づくりのために設けられたのが義務教育費国庫負担制度である。
国において、平成23年度に小学校1年生の35人以下学級が実現し、各都道府県においても、学級定員規模を縮小する措置が、都道府県単費で行われている。
しかし、国民に等しく義務教育を保障するという観点からいえば、財政的に最低保障として下支えしている義務教育費国庫負担制度は必要不可欠である。
学校の基幹職員である学校事務職員・学校栄養職員を含め、教職員の給与を義務教育費国庫負担制度から適用除外することは、「義務教育費国庫負担法」の目的に反するばかりでなく、財政負担を地方自治体に課し、厳しい地方財政をさらに圧迫するものである。
よって、本市議会は国及び政府に対し、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く要望する。

4月臨時会 議案等の審議結果一覧

Table with columns for item name, party, and voting results. Includes sections for Mayor's proposals and Council proposals.

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※地方自治法第117条により、(*)については1名の議員が議事に参加していません。
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

○平成28年定例会開会予定日○
9月定例会 9月2日(金)
12月定例会 12月2日(金)
※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

会派別議員名簿 (現員数42名)
政和会: 稲葉健二、松永鉄、荒木詩郎、創生市川第3: 金子雅正、鈴木永斗、松永修、創生市川第2: 石井清海、竹内みさ、清風会: 岩井清幸、田中太郎、小泉文武、加藤央人、創生市川第1: 佐藤義一、かつまた大、西牟田竜、石原よしの、民進・連合・社民: 桜井雅人、廣井雅人、清水みづな、高坂貞作、金子貞作、日本共産党: かいづ、佐藤ゆきの、ほそだの、三浦一幸、中山幸成、自由民主党: 秋本のり、湯浅止子、増田好秀、長友正徳、片岡ようこ、越川雅史、無所属の会: 松葉浩、大宮諭、宮場均、浅野さゆ、西村敦志、中野よしお、久保隆志、堀保志、公明党: 堀保志

※○は会派代表者。 ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員3人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。